

あす打開策を検討

水俣病患者
者互助会 補償額提示要求へ

水俣病補償の第三者機関によるあつせんは寺本知事が難色を示したことから暗礁に乗り上げた形だが、水俣病患者家庭互助会（山本亦由会長）は十五日臨時総会を開き、打開策を検討する。

互助会では政府の公算認定が出て間もなく、チツソに対し補償要求を提示し、以後補償交渉を重ねたが、チツソ側は補償額を提示せず、先の第三回交渉では知事を中心とした第三者機関に補償額についての基準を指導してもらうことで意見が一致した。

ところが寺本知事はこのほど、チツソ側に「基本的な考え方に相違がある」として第三者機関の設置を断わり、さらに仕方の互助

会の申し入れに対しても「もっと両当事者の話し合いを煮詰めてからにしてほしい」と、現時点での仲介を断わった。そこで互助会では事態を重視し、臨時総会を開いて打開策を検討することになったもの。

十五日は山本会長宅で午前中に互助会補償交渉委員会を開き、午後一時ごろからさらに臨時総会を開いて対策を協議し、第四回交渉の期日も含めて会社側に申し入れる予定だが、互助会としては会社側に対し早急に補償額を提示する